

直譯聖書

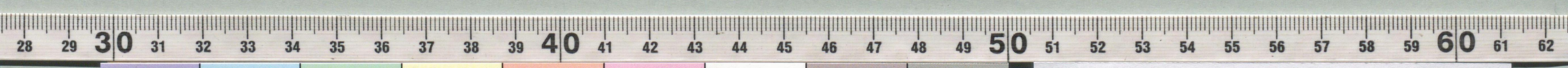
大日本 渡邊國武 直譯

第一章 原文聖書及び直譯聖書

一能所相感應一因果相終始一三圓妙靈活なる  
 一體の成り所の此の全宇宙人生及び一切萬有  
 と神が自己の中より自己の全智全能を發揮し表  
 現し證明し活寫し給いし所の聖書の原文不  
 有る二故に人類が萬物の靈なる本能より其  
 の宗教的活と遂げむが為めを讀まねるからぬ  
 所の聖書を是非とも此の原文聖書を若くは

此の原文聖書より直ちに翻譯せらるる所の直  
 譯聖書不有らゆべからぬなるゆへ不有る三  
 然るに此の原文聖書を卷帙浩翰不有る其の意  
 味深遠不有るから同一の聖書より翻譯せ  
 らるるも其意味を千差萬別に解せらるるの不  
 有る四是東西古今の哲学果宗教界に於ける哲  
 学各系統宗教各宗派の千差萬別一ならざる  
 所以不有る五之と大別をれを大凡四種の系統  
 に有る六第一を印度系統即ち吠陀讚唱及び  
 其の解釈として編纂せられし所の婆羅門書

東洋原書





直譯聖書

大日本 渡邊國武 直譯

第一章 原文聖書及び直譯聖書

一 能所相感應し因果相終始し其圓妙靈法なる  
 一體と成る所の此の全宇宙一切萬有を根本的  
 真如法性即ち神が自己の中み自己の全智全能  
 と發揮し顯彰し證明し活寫し給はる所の自  
 啓的聖書の原文を有る二故に人類宗教的生活  
 の本分として神を知り神と妙合一致せむを為  
 めに讀まねをむらぬ所の聖書を是非とも此の

原文聖書若しくは此の原文聖書より直譯せ  
 らるる所の直譯聖書を有らぬをりらぬ決し  
 其他の各宗教の聖書の如く散斯克語希伯來語  
 若しくは希臘語ヒトを以て記述せらるる聖  
 書のり再譯せらるるのと用ふ可きるを無  
 三 本聖書が直譯聖書と名つけらるるの其の  
 等再譯聖書との區別を明らるるを為め  
 有る四蓋此の全宇宙一切萬有なる聖書の原文  
 を唯一無二として明々白々と吾人類一般に  
 啓示せらるる有るの不可るけむし其の讀法

東京 榎原 堂



直譯聖書

大日本 渡邊國武 直譯

第一章 原文聖書及び直譯聖書

一能所相感應一因果相終始一圓妙靈活なる  
一體と成る所の此の全宇宙一切萬有を神が自  
己の中に自己の全智全能を發揮し表現し證明  
し活寫し給はる所の自啓的聖書の原文不有  
る二故に人類宗教的生活の本分として神を知  
る神と妙合一致せむが為めを讀まねばならぬ  
所の聖書とは是非とも此の原文聖書を若くし

此の原文聖書自ら直譯せらるる所の直譯聖  
書不有らぬなりぬ決して他の各宗教の聖書  
の如く散斯克語希伯來語若くし希臘語など  
と以て記述せらるる所の聖書より再譯せら  
るるのと用ふ可きもの無い三本聖書を直譯  
聖書と名つけらるるの如き再譯聖書との  
區別を明らるるものがある四直譯と謂  
ふても此の原文聖書を所謂全宇宙一切萬有  
字毎に譯し句毎に解釋せらるるのみを一種の  
博物學讀本やその如きものなりて聖書の聖書

直譯聖書

直譯の  
下有る



とる靈力を發揮し人類として神を知り神と妙  
合一致せしめし神其は自身と同一なる圓妙  
靈活なる最大幸福と受けなりしとあるよしと出來ぬの  
下有る其を下有るものなりし東西古今の哲学界  
宗教界の偉人哲人を各自此の原文聖書と讀  
破し解釋しし人類を<sup>一</sup>しし神を知り神と妙合一  
致しし神其は自身と同一なる圓妙靈活なる最  
大幸福を受けしむるが為め各自此の原文聖  
書の譯述しし人類を廣宣流布せしむるのが哲  
学の各系統なり宗教の各宗派下有る其を<sup>六</sup>等と  
邊觀通視しし之を大別して五種の大凡四種の系統  
が有る第一は印度系統第二は支那系統第三  
三は希臘系統第四は猶太系統下有る

東洋原典

